

建設女子 現場を理解

長野原 高校生がハツ場見学



女性技術者と女子高校生による意見交換会

建設現場への就職を後押ししようと、県は25日、長野原町の「なるほど！やんば資料館」で、県内の建設系学科で学ぶ女子高校生と女性技術者との意見交換会を開いた。3校の生徒19人がハツ場タムの建設現場を見学し、技術者の体験談を聞いた。

前橋工業、桐生工業、利根実業の生徒が参加。国土交通省ハツ場ダム工事事務所や県のほか、清水建設や小野里工業など民間企業で働く女性技術者と共に

ダムの工事現場を展望台から視察し、工事の進捗状況を確認した。女性技術者5人は職場の環境改善やハツ場ダム建設による生活再建事業、県による公共事業について自身の体験を紹介。生徒は「仕事で大変だったことは何か」「出産や育児をしながら仕事を続けるは大変か」などと質問し、自身の将来をイメージしていた。

人手不足が進む建設業界への就職を促そうと、県が関係機関と協力し初めて開いた。